

東京電力／福島第一原子力発電所の緊急事態に伴う  
静岡県内の環境放射線等測定結果(第19報)  
(平成23年3月24日17時現在)

文部科学省からの要請に基づき、静岡県の環境放射線の測定を実施しております。  
また、18日からは水道水及び降水物の放射能測定も開始しました。さらに、23日から下田市、沼津市及び磐田市に可搬型モニタリングポストを設置し、環境放射線の測定を開始しました。

測定結果は次のとおりです。健康への影響を心配する必要がないレベルです。

1. 3月24日9時から3月24日17時までの環境放射線の測定結果

この時間帯、静岡市の測定結果は過去の変動幅を28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時) を超過した値は観測されませんでした。

また、下田市、沼津市及び磐田市に3月23日に追加で設置したモニタリングポストの測定結果については、平成19年度から平成21年度までの文部科学省による全国の環境放射能水準調査の結果の範囲内の値であり、健康への影響を心配する必要がないレベルです。

時間	測定値(nGy/h)				備考
	静岡市	下田市	沼津市	磐田市	
9:00～10:00	47.0	62.5	45.3	50.3	
10:00～11:00	46.7	64.0	46.0	51.0	
11:00～12:00	46.6	62.3	46.7	50.8	
12:00～13:00	46.7	61.2	46.3	51.0	
13:00～14:00	47.6	61.2	46.3	52.3	
14:00～15:00	49.1	59.3	46.2	51.8	
15:00～16:00	48.5	57.5	46.0	50.3	
16:00～17:00	48.0	56.0	45.7	49.8	

- ・ 静岡市の過去の変動幅：28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時)
- ・ 平成19年度～平成21年度の文部科学省による全国の環境放射能水準調査の測定結果の最小値：13.3 nGy/h (沖縄県)、最大値：153 nGy/h(新潟県)
- ・ 宇宙線 (宇宙からの放射線) の影響を除いた値です。
- ・ 1 nGy/h (ナノグレイ毎時) ≒ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時)
- ・ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時) =0.001 μSv/h (マイクロシーベルト毎時)  
=0.000001mSv/h (ミリシーベルト毎時)

## 2. 3月24日採取の水道水の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：静岡市葵区北安東】

ヨウ素131 : 検出されず

セシウム137 : 検出されず

(参考) 3月22日の採取の測定結果

3月22日の測定では、福島第一原子力発電所の影響と思われる極微量 (0.14Bq/kg) の放射性のヨウ素131が検出されましたが、この値は飲食物摂取制限に関する指標値 (300Bq/kg) の約2000分の1以下、乳幼児の指標値(100Bq/kg) の約600分の1以下であり、健康には全く影響がない値です。

また、この濃度の水道水を1年間飲み続けた場合の被ばく線量は、0.002mSv (2 $\mu$ Sv) 程度であり、1年間の被ばく線量限度1mSvと比較しても500分の1程度です。

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131 : 0.14 Bq/kg (ベクレル毎キログラム)

セシウム137 : 検出されず

## 3. 降下物の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：御前崎市池新田】

採取期間：3月23日9時～3月24日9時

福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性物質が検出されましたが、これらの放射性物質による空間線量率の増加は、解析の結果、これまでに降下したものを含め、約0.000015mSv/h (約0.015 $\mu$ Sv/h) でした。これは健康への影響は全くない値です。

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131 : 5.8 Bq/m<sup>2</sup> (ベクレル毎平方メートル)

セシウム137 : 5.9 Bq/m<sup>2</sup> (ベクレル毎平方メートル)

セシウム134 : 5.7 Bq/m<sup>2</sup> (ベクレル毎平方メートル)

・ Bq(ベクレル) : 放射能の量を表す単位

以上